

◆八千代市都市マスタープラン地域別構想（案）に寄せられたご意見と市の考え方

No	該当ページ	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正等
1	1, 2	<p>既成市街地の定義 既成市街地という言葉が使われております。この言葉は都市計画法で定義されていますので、市民に視覚的に理解しやすい方法（見える化）で情報提供が望ましいです。</p> <p><定義> 1 haあたり40人以上が連たんしている土地～ 従って250mメッシュでは250人です。</p> <p>この資料は全体構想のP16に使われておりますが交通カバー率ががぶさっているため見にくい です。まずは大きな図で提示し、エリアがわかるように括り線があるとよいと思います。つづ けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設 ・ 福祉・医療施設 ・ 商業施設 ・ 交通等 <p>を個別に重ねることで、市民からありたいまちの姿に関するアイデアが出ますのでそのアイ デアを総括する方法で都市マスをとめてください。</p>	<p>地域別構想（案）における既成市街地は本市の市街地の成り立ちから京成本 線沿線地域を示すエリアの呼称として使用しており、首都圏整備法で定める 既成市街地を示すものではありません。</p> <p>ご意見にあるような分析につきましては、令和2年度に都市構造分析として 行っており、第2回八千代市都市マスタープラン策定会議の参考資料として 市ホームページに掲載しております。なお、計画書にはスペースの関係で表 示を省略しておりますのでご了承ください。</p>	
2	1～4	<p>地域区分の細分化 市街化区域と市街化調整区域ではまちづくりの方向性が180度異なります。エリアとして複合 市街地と区分するのはともかく細分化しませんと「良好な住環境」、「豊かな自然環境」の双 方を実現するために解決したい課題が不明確になります。「見える化」の努力をすることで市 民から有効なアイデアの提案が生まれると思います。</p>	<p>市街化区域と市街化調整区域の方針につきましては、市全体で考える必要が あることから、全体構想P41～44に方針を示しております。</p> <p>市街化区域であっても駅から離れた地域があり、また、市街化調整区域で あっても、駅に近接する地域があるなど、同じ区域区分であっても状況は 様々です。</p> <p>このため、今回の地域別構想案における地域区分につきましては、市街化区 域と市街化調整区域で区分するのではなく、人口動向や地理的条件、市街地 の形成過程等、地域の状況や課題等が共通する、京成本線沿線を中心とした 地域、東葉高速線沿線を中心とした地域及び市北部の自然豊かな地域の3つ に区分しております。</p> <p>いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>	
3	1～4, 13, 23	<p>オーバーラップした区域の取扱い 既成市街地エリアと複合市街地エリアが重なったところは何の様な対応をするのか不明確で す。特に勝田台地区は両者に大きく跨り、実際に表現が異なっております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆既成市街地エリア P13 勝田台駅南口駅前広場の整備 にぎわいの創出や利便性向上のための駅前広場等の再整備 ◆複合市街地エリア P23 広域利用に配慮した駅周辺の土地利用 にぎわいの創出や利便性向上のための駅前広場等の再整備 <p>同一区域ですから統一されてしかるべきと思います。 その他重なった部分は実際に居住している市民にとってあいまいさが残ります。</p>	<p>今回の地域別構想（案）における地域区分につきましては、明確に区分する のではなく、地域間の連携もイメージし一部重複した区分設定としておりま す。また、このエリアが重なる部分はどちらのエリアの特性も有する地域で あると考えております。</p> <p>なお、まちづくりの方針図につきましては、各エリアのまちづくりの方針の うち、特徴的なものを中心に記載することで、各エリアの特徴を表現して おります。</p>	

No	該当ページ	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正等
4	1, 5, 10	<p>地域別構想における20年間の街づくりの方針について まず、八千代市を3つのエリア（既成市街地、複合市街地、自然環境保全エリア）にわけると いう形についてはその通りだと思います。 その中で八千代台で業務に従事している者からしますと、八千代台、大和田、勝田台を含む既 成市街地エリアは、市全体の4割の人口であり高齢化率が市全体より5ポイント多いというデー タをひしひしと実感しております。 これについての活性化については、まず道路交通網の整備と空き家などの整理で決まった部分 を作り出し、緑が丘同様の高層マンションの導入により人口増を促したい。 また、高津団地等については八千代市とURで調整して、老朽建物の建て直しとエレベータの導 入など新規住民への誘導付加価値が必要と考えます。</p>	<p>既成市街地エリアにつきましては、地域別構想案のP10既成市街地エリアの まちづくりの方針に基づき、京成本線沿線の活性化や、都市計画道路等の整 備を進めてまいります。</p>	
5	3, 14, 15	<p>緑が丘に代表される複合市街地エリア。 市全体の52%が住み、高齢化率も市全体から6ポイント低いといういまや八千代台に代表され る既成市街地エリアを抜き、八千代市最大の人口集積と活力を誇るエリアとなっております。 これは20年前に東葉高速の開通と共に開発が着手され、計画的交通網並びに高層マンション化 の街づくりなど、八千代台と違い、新しい具体的整備がなされた結果であります。 市街化調整区域の無秩序な進行があるというが、この辺の事案については市全体の人口調整の もととなる為、八千代台地区の人口増のバランスを含め、市の介入により操作して頂きたいと 考えている。 既成市街地と複合市街地のバランスの均衡が八千代市の取るべきスタンスであると考えてい る。</p>	<p>今回の地域別構想（案）における地域区分につきましては、明確に区分する のではなく、地域間の連携もイメージし一部重複した区分設定としておりま す。 各エリアごとのまちづくりの方針に基づくとともに、地域別構想（案）P3で 整理している、将来都市構造における位置付けを踏まえ、地域間の分担や連 携が図れるよう努めてまいります。 市街化調整区域につきましては、全体構想（案）P42（2）市街化調整区域の 方針で示すとおり、今後は、人口減少に伴い市街地の人口密度の低下が懸念 されております。このため、都市計画法第34条第11号の区域指定制度につい ては見直しを進めることとしておりますが、既存集落の生活環境の保全を図 るため、必要な範囲内で、自己居住用住宅の建築を可能とするなど、地域の ニーズ等を把握しながら見直しを図ってまいります。</p>	
6	8, 11	<p>■若い世代の共感を生む洗練された街ヘリノベーション 八千代市の認知度を上げ若い世代が住み継いでいくような施策を行うことが必要。その一環と して、古き良き八千代市の建物や商店街のレトロさを残したりノベーションなどを進めていく ことを提案。 中でも、空き家をリノベーションの対象とし有効活用することで、市民の関心事でもある「空 き家が増えている」事に対し、市としての方針を示すことを期待。</p> <p>※空き家活用に対する具体例 ・商品在庫を抱える業者や企業に対して倉庫として貸し出す。 ・古民家カフェとしての再生、まちづくり ・プチ移住と称し、農業希望者や地方移住希望者への移住支援を行う。 移住者への市内ツアーを組むなど、移住後の具体的なイメージをもってもらう。 ・リモートワークが増えている今こそアピールすべき。 ・リフォームの際に八千代市内の業者を使うことを条件に市から助成金をだすなど、市内の経 済の活性化を図る。</p>	<p>八千代市の認知度を上げる施策に関するご意見につきましては、担当部局と 共有し、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。 空家の対策につきましては、地域別構想（案）P11「〇既存住宅ストックの 有効活用」において方針を示しております。また、令和3年に八千代市空家 等対策計画を策定し、空家の活用・市場への流通促進を位置づけ、空家の利 活用や老朽化した空家等の除却の促進について取組を進めております。 なお令和4年度より空家バンクに登録された空家を居住のために購入し、市 内施工業者によりリフォームを行う場合の補助制度を創設しております。</p>	

No	該当ページ	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正等												
7	8, 17, 27	<p>市民の意向のアンケートの解釈、P8、P17、P27より抜粋 土地利用に関するアンケートです。</p> <table border="1"> <tr> <td>エリア区分</td> <td>わからない、該当なし</td> <td>全体</td> </tr> <tr> <td>既成市街地エリア</td> <td>21.2%</td> <td>31.8%</td> </tr> <tr> <td>複合市街地エリア</td> <td>36.5%</td> <td>31.8%</td> </tr> <tr> <td>自然ゆたかなエリア</td> <td>26.9%</td> <td>31.8%</td> </tr> </table> <p>既成市街地エリアでははっきり意見を述べているということです。従って個別の意見にしっかり耳を傾け詳細に分析する必要があります。</p> <p>複合市街地エリアではわからないがなぜ多いのでしょうか。このエリアは相対的に年齢が若く問題意識を持っている人が多いと想定されるにも関わらずわからないが突出しています。これは行政がピックアップした課題以外に多方面の課題が山積していて回答できないという意思表示です。従って自由記述など個別の意見を詳細に分析しませんが市民の意向と問題解決とはかけ離れた可能性があります。</p> <p>たった一つのデータだけでも分析が不十分と感じる部分があります。自由記述などより詳細に分析する姿勢が欲しいと思います。これを実現することが市民に寄り添う行政と評価される一つと思います。</p>	エリア区分	わからない、該当なし	全体	既成市街地エリア	21.2%	31.8%	複合市街地エリア	36.5%	31.8%	自然ゆたかなエリア	26.9%	31.8%	<p>市民アンケート調査につきましては、自由意見を含めた分析を踏まえて計画を策定しておりますが、計画書にはスペースの関係で内容を省略しております。</p> <p>また、市民アンケート調査において「わからない、該当なし」といった回答が多いことにつきましては、これまで都市計画に関する情報提供等が不足していたことが大きな原因であると考えております。今回都市マスタープランの策定に当たっては、新たに都市計画に関する子供向けホームページや、都市マスタープランの説明動画を作成するなど、情報発信に努めてまいりましたが、引き続き、住民参加のきっかけとなるよう情報発信に努めてまいります。</p>	
エリア区分	わからない、該当なし	全体														
既成市街地エリア	21.2%	31.8%														
複合市街地エリア	36.5%	31.8%														
自然ゆたかなエリア	26.9%	31.8%														
8	8, 17, 27	<p>アンケート結果の対策 アンケート結果で明記されている内容についての対策が記述されていない。例えば、空き家が増えている。敷地に複数家が建つ対策は？駅前規制緩和で解決できないと思います。むしろ規制を設けたり、デザインコードを決めたりすることが必要になってくるかと思えます。</p>	<p>空家や敷地の細分化など市全体に共通する課題に対する方針につきましては、全体構想に示しております。例えば空家については「■既存住宅ストックの有効活用や土地利用転換の促進」に示しております。また、敷地細分化防止については、地区計画等の活用が基本と考えており、全体構想P41(1)住宅地に示した各住宅地の種類ごとに方針を示しております。</p> <p>なお、地域別構想は地域で特筆すべき内容を中心に方針を示しております。</p>													
9	8, 17, 27	<p>アンケート結果の対策 道路が狭く自転車が通行しづらい等についての対応がありません。自転車やウォーカーブルなまちづくりへの対策、一方通行化や自転車レーン、専用道等の検討を明記すべきと考えます。</p>	<p>道路など市全体に共通する課題に対する方針については、全体構想に示しております。全体構想P50④歩行者や自転車が利用しやすい道路の整備方針が対策となります。</p> <p>なお、個別具体の事業等につきましては、それぞれ個別計画等の中で検討してまいります。</p>													
10	8, 17, 27	<p>アンケート結果の対策 アンケートは住民の意見でその街の課題です。既成市街地は特にそれに対する方策をしっかりとたてることが重要かと思えます。</p>	<p>既成市街地に限らず、アンケート結果につきましては、地域の課題と捉え、計画を策定しております。今回の地域別構想のエリア分けを課題別のエリア分けにしたこともアンケートの結果等を踏まえたものです。</p> <p>いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>													

No	該当ページ	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正等
11	10	<p>将来都市構造における位置づけの既成市街地エリアについて</p> <p>①八千代台駅周辺活性化のまちづくりの一環として以前あった八千代台駅高架線化の計画の記載がありませんが、計画そのものが白紙（頓挫）に戻ったということですか。現状及び将来の考え方について記載をして頂きたい。</p>	<p>京成線沿線地域の活性化の方法として京成線の高架化について検討しておりますが、現状では費用対効果が国に事業採択される基準を満たせない見込みであるため、高架化事業の検討を取りやめております。</p> <p>八千代台駅周辺の将来の考え方等につきましては、地域別構想（案）のP10（3）まちづくりの方針 ○京成本線沿線の活性化の方針等を記載しております。</p>	
12	10	<p>将来都市構造における位置づけの既成市街地エリアについて</p> <p>②八千代台駅西口ロータリーは、狭いエリアに東洋バス、京成バスの発着場所に使用しており、昨年の12月に動線（バス運転手から見て人や車の動きが把握しづらい？）の関係から市役所～八千代中央駅～八千代医療センター行きの発着場所が変更となり、かつ、今年の11月1日から旧八千代台公共センター解体工事（但し、11/17時点では工事は開始となっていない）の関係から上記のバスの発着場所が線路側の車道に変更になったが、小手先の変更ではなく、抜本的な改善方法（ロータリーの拡張や八千代台公民館側の道路を活用して発着場所の変更）の考え方ありませんか。考え方等があればまちづくりの一環として記載をして頂きたい。</p> <p>又、旧八千代台公共センター解体工事が終了後の考え方（更地として放置する、バスの発着場所に利用する、新たな建物を構築する）があれば記載して頂きたい。バス利用者をタライ回しする考え方は避けて頂きたい。</p>	<p>地域別構想（案）のP10〇駅前広場等の再整備において「八千代台駅 及び勝田台駅については、地域のにぎわいの創出や交通結節点としての利便性の向上を図るため、駅前広場等の再整備を検討します。」と方針を記載しております。</p> <p>このことから、旧八千代台公共センター解体後の跡地については、当面の間、暫定的な利活用を考えております。</p> <p>なお、解体工事の際の安全性を確保するため、施設に隣接するバス停を移設しましたが、解体工事完了後には、元に戻す予定です。</p>	
13	10	<p>P10</p> <p>〇駅前広場等の再整備</p> <p>八千代台公共センターはまもなく解体されることになっており、近くの千葉興銀は転出し空きビルになっています。</p> <p>この様に、八千代台駅西口は大きく変貌する時期に来ており、将来的な街のビジョンの創作が急がれます。</p> <p>八千代台自治会を含めたエリアプラットフォームを早急に立ち上げ、街のビジョン作成が望まれます。</p> <p>ビジョンが出来るまでの公共センター解体後の跡地は、ベンチを置き、住民の憩いの場としての活用が望まれます。</p>	<p>地域別構想（案）P10「〇京成本線沿線の活性化」に記載の各方針に基づき、八千代台駅周辺地域についても、活性化を進めてまいります。</p> <p>なお、京成本線沿線地域の活性化を図るため、現在、京成本線沿線のまちづくりビジョンについて検討しております。</p> <p>このことから、旧八千代台公共センター解体後の跡地については、当面の間、暫定的な利活用を考えております。</p>	
14	10	<p>P10（3）まちづくりの方針</p> <p>（1）景観</p> <p>景観を整えるためには景観条例が必要と思われるが、八千代市の景観条例や景観計画はいつ作成されるのでしょうか。</p> <p>千葉県の景観行政団体は添付のようになっています。</p> <p>景観計画を策定していない理由は何でしょうか。策定の予定はありますか。</p>	<p>景観につきましては、これまでも地区計画制度の活用や屋外広告物表示・設置の適正化等により、良好な景観の形成を図ってまいりました。</p> <p>現在、景観行政団体への移行に向けた検討を行っております。景観条例及び景観計画につきましては、景観行政団体への移行後に改めて検討いたします。</p>	
15	10	<p>P10（3）まちづくりの方針</p> <p>（2）まちづくり</p> <p>まちづくりを進めるのあたっては、根拠となる条例が必要であり、千葉市の「市民自治によるまちづくり条例」の様な条例を作成すると、まちづくりが進め易くなると思いますが如何でしょうか。</p>	<p>市民自治に関する条例につきましては、担当部局と共有し、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p> <p>なお、まちづくりの推進体制につきましては、今後検討を予定するまちづくり推進の方策に整理いたします。</p>	

No	該当ページ	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正等
16	10	P10 駅前広場等の再整備 周辺の様々な団体によるエリアプラットフォームの形成が述べられていますが、いつから発足でしょうか。 想定されている団体はいつ決まるのでしょうか。 八千代台駅周辺の整備予算額はいくらでしょうか。また、いつから整備開始を想定しているでしょうか。	駅前広場等の再整備につきましては、現時点では事業の具体的なことについては申し上げられる段階にありませんが、今後事業等について具体的に検討する段階になりましたら、改めて広報等でお知らせいたします。 なお、個別具体の事業等につきましては、それぞれ個別計画等の中で検討してまいります。	
17	10	アンケート結果の対策 駅前整備関連は規制緩和して高層ビルを建てるように感じますが、空きビルが目立つ現状にあっては疑問に感じます。八千代台の特徴は戸建て住宅が多く緑が多い街並みで、これが「人がつながり住み続けたい魅力」だと思います。コンクリートを増やす方向は違和感がありますし、アンケート結果にも出ているかと思えます。	京成本線沿線地域の活性化を図るため、八千代台駅周辺につきましては、今後、整備方針等を策定したうえで、地域の特性を活かした整備や良好な市街地環境に資する建築物を誘導する必要があるものについて「都市計画の見直し」や「規制緩和」を行うこととしております。 市民アンケート結果につきましては、市ホームページに掲載しておりますが、八千代台地域では「問11 住み続けられる街づくり」や「問14 活力ある工業・産業・商業に向けたまちづくりについて」において「駅前広場の拡充や、駅周辺の活性化を進める」「駅周辺の商業地を活性化させる」といった回答の割合が特に高くなっております。 なお、戸建て住宅地や緑を高層ビル等に変更することは想定しておりません。	
18	19	緑が丘地区に新設される小学校 つい先日議会で令和8年度に小学校が開校されると教育委員長より宣言がありました。該当地域は線引きもしていない地域です。それだけに将来を見据えた計画策定が必要と感じます。20年あるいはそれ以上のロードマップを描いて欲しいと思います。 単に小学校の機能だけを新築するのではなく、将来高齢化が進展した場合に備えて転用の可能性を踏まえてしっかりと計画をお願いします。	新たに建設される小学校の校舎につきましては、令和8年度に供用開始とすることを目標にしております。該当地区につきましては、地域別構想（案）P19「西八千代南部地区の市街化区域への編入推進」で示すとおり「市街化調整区域」であります。八千代緑が丘駅に近接するなど、現に市街化が進行していることから、地区計画等を活用し、市街地としてふさわしい良好な市街地環境の整備・保全を図ることとしております。いただいたご意見は、担当部局と共有し、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。	
19	29, 30, 31	自然環境保全エリアについては、更なる大学誘致による学園都市構想で八千代市に将来定住する若年層の開発を促し、老人ホームなども含め福利厚生エリアの構築も必要である。 また、里山、谷津田を活かし千葉ニュータウンのような自然共生大型公園の設置等、エリアを決めて計画的配置することが肝要と思われる。	現在のところ、更なる大学誘致や大型公園の設置等は予定しておりませんが、自然環境保全エリアにつきましては、農地や谷津・里山等の自然環境を保全するとともに、八千代カルチャータウン地区や道の駅やちよ等を活用し、地域の活性化を図ってまいりたいと考えております。	
20	31	■荒地、耕作放棄地、未利用地の活用 いずれのエリアの土地利用現況割合においても、荒地や耕作放棄地の占める割合は少なくないと感じた。これらをどうすべきか、八千代市としての姿勢を明文化することを期待。 ※活用具体例 ・後継者や農業従事希望者を全国から募集し、土地や重機を廉価で貸し後継者の育成をする。 ・近年エコ志向が高まっており、地権者から土地を借りる、もしくは買取り整備し、アグリツーリズム、エコツーリズム、グリーンツーリズム、SDGsを学べるツアーの企画。 それらの体験型宿泊施設の誘致。 ・地産地消（千産千消）での食育を体験できる施設	ご意見を踏まえ、地域別構想（案）P31「〇八千代ふるさとステーション等の活用について」において「地産地消の推進並びに」の文言を追加いたしました。 なお、令和3年策定の「八千代市第2次農業振興計画」において、耕作放棄地やこれからの農業についての方針を示しております。個別具体の事業等につきましては、それぞれ個別計画等の中で検討してまいります。	○

No	該当ページ	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正等
21	全体	<p>参考資料の八千代市都市マスタープラン全体構想（案）によれば、目標年度は2042年度と記載されていますが、今回、対象となっている八千代市都市マスタープラン地域別構想（案）に記載されている内容も2042年度までに全て実現する考え方で。又、計画スケジュール等の内容（短期・中期・長期）案もあれば、記載して頂きたい。</p>	<p>都市マスタープランはおおむね20年後の都市の将来像を展望し、その実現を目指しておりますが、広域幹線道路等整備には長期間を要するものがあり、より長期的な展望を含んでおります。</p> <p>また、都市マスタープランは「市町村の都市計画に関する基本的な方針」であり、具体の事業を示す計画ではないことから、本計画内にスケジュール等を記載していませんが、ご意見につきましては、今後具体的な施策や事業を進める際の参考とさせていただきます。</p>	
22	全体	<p>まず、市民に意見を求めているようでは、課題を把握し実行していない証拠ですね。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一番大切なことは、せっかく増えた人口をどう生かすか。 2. 子供達が地元に残りたいと思う環境を整備すること。働き手となった時、都心（他地域）へ流出することを防ぐこと。 3. ベッドタウンとしての機能が充実し効率よく生かされていること。（埼玉県越谷市や川口市をモデルにすると良いでしょう） 4. 八千代市内にはレジャー施設がない。市街化調整区域の利用・活性化のため、プールやアスレチック施設があると良いでしょう。（しらこぼと水上公園（埼玉県越谷市）） 5. 農のある暮らしを求める人もいますので、市街化調整区域を整備し販売（誘致）する。（飯能市をモデルにすると良いでしょう。） <p>※上記はいずれも交通アクセス（道路 + 電車）が良いことが前提となります。千葉県の道路評価は最悪です。渋滞が緩和されるよう整備することは重要課題です。</p> <p>※東葉高速鉄道や商業施設、商店などとの連携・誘致も効果的です。東葉高速鉄道下を商店（飲食店）などへ賃貸すると、建設費用の回収が期待できます。（都心の高架下を参考にしてください）</p> <p>緑が丘で言えば、イオンにUNIQLO と GU は子育て世代に必須です。路面店の蔦屋書店やスターバックスもいいですね。おしゃれ × 映えは必須です。</p> <p>京成線沿いの昔ながらも、おしゃれ × 映え にすることで発展します。</p>	<p>増えた人口をどう生かすかや流出の防止等につきましては、令和3年3月策定の第2期八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略において「やちよの魅力」を創出し、新しい人の流れをつくる」及び「魅力あるしごとをつくり、地域経済の稼ぐ力を高める」を基本目標に掲げており、本市の施策上重要な課題としてとらえております。</p> <p>市街化調整区域の整備等につきましては、全体構想（案）P42（2）市街化調整区域の方針で示すとおり、今後は、人口減少に伴い市街地の人口密度の低下が懸念されております。このため、都市計画法第34条第11号の区域指定制度については見直しを進めることとしておりますが、既存集落の生活環境の保全を図るため、必要な範囲内で、自己居住用住宅の建築を可能とするなど、地域のニーズ等を把握しながら見直しを図ってまいります。</p> <p>なお、地域別構想（案）P29「〇広域幹線道路沿道の土地利用の誘導」において、国道16号沿道の大規模流通業務施設や沿道施設等の立地を誘導することで、広域幹線道路の沿道にふさわしい土地利用を図るとしてはありますが、ご意見を踏まえ、文言を修正いたします。</p> <p>東葉高速鉄道高架下につきましては、東葉高速鉄道株式会社において、店舗や事務所、駐車場など様々な用途で活用しているところであり、今後、新規店舗の建設や新規テナント誘致により児童発達支援施設等の入居が予定されています。また、商業施設等との連携につきましては、包括連携協定等を結び、地域の活性化や連携の強化を図っております。</p> <p>その他いただいたご意見は、担当部局と共有し、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>	○

No	該当ページ	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正等
23	全体	<p>【八千代市の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベッドタウンとしての機能不足 ・小・中学校問題※最重要課題 <p>◎小中学校はスクールバスを活用して生徒数が減っている小学校へ、中学校増設を急いでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内では買い物・レジャーが完結しない ・アクセスの悪さ（道路状況に加え、東葉高速鉄道運賃が高額なため車移動を選択） ・おしゃれ × 映え がない <p>【八千代市の未来】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベッドタウン機能充実 = 住民税の安定確保 ・市外利用客からの収益 <p>が実現できれば、市役所建て替えも身近になってくるでしょう。</p> <p>八千代市の発展を心より期待しております。</p>	<p>都市マスタープランの策定に当たっては、都市構造分析や市民・高校生アンケート調査等を実施し、ご意見にありますような本市の現況や課題を整理し、全体構想（案）において、第1章現況と課題として記載しております。また、これら現況や課題を踏まえ、全体構想（案）及び地域別構想（案）を作成しております。</p> <p>いただいたご意見は、担当部局と共有し、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>	
24	その他	<p>「市内にドッグラン施設の造成をお願いしたいです」</p> <p>東葉高速鉄道の八千代線が丘～勝田台沿線に八千代市の人口が集中しており、その分犬を飼っている家庭も多く、八千代市のコンセプトにもある暮らしやすい街の一環としてもドッグランは今の時代には重要な施設だと思われます。</p> <p>若い世代の家庭から一人暮らしの年配の方まで、朝夕の散歩風景は日常になっています。</p> <p>市の中心部にある県立八千代広域公園は現在大規模な工事を行っていますが、その一画にドッグラン施設を設けることは出来ないでしょうか？</p> <p>既存で言えば図書館裏側～陸上グラウンド周辺には広い芝生の広場となっており、あのような広場をもっと有効活用出来ないものかいつも考えています。</p> <p>周辺の市、特に印西市や松戸市には市営及び私営のドッグランが充実しており、八千代市在住者でドッグランに行ける人は市外の施設を利用しています。</p> <p>行ける方ならまだマシですが、車を持っていないかたり、年配の方で自身で車の運転が出来ない方は、市外の施設に行くことすら出来ません。</p> <p>犬仲間では印西市が羨ましい、〇〇市が羨ましい、どうして20万人も人口がいる八千代市にはないのか？という話題が出てきます。</p> <p>来年度、八千代台東地区に複合施設が完成予定で、その中に八千代市初のドッグランが出来るという情報は市のホームページで拝見しましたが、先に言いましたように人口が集中している地域で、八千代広域公園であれば、市の中心の中の中心にあり、駐車場も完備されているのでこれ以上ない条件が揃っていると思うのですが。。。是非とも八千代市第二弾をドッグランが出来ることを願っております。</p>	<p>県立八千代広域公園につきましては、現在、千葉県により整備が進められております。千葉県に確認したところドッグラン施設の計画はないとのことですが、いただいたご意見は、担当部局と共有し、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>	
25	その他	<p>都市計画には各分野専門家へ依頼し、分野別に実行するのではなく連携をとって実行することを希望します。これらにかかる経費は、のちに回収できるでしょう。</p> <p>今の八千代市の対応は後手後手、中途半端です。専門家へ依頼することで最善策をスピード感を持って対応・実行できます。</p>	<p>いただいたご意見は、今後都市計画を見直す際の参考とさせていただきます。</p>	

No	該当ページ	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正等
26	その他	<p>■官民一体となった SNS を利用したブランディング 八千代市は豊かな自然が魅力だが、全国にはそのような場所は無数に存在するため、他と差別化を図ることができる都市や観光地をブランディングし、全国にアピールしていくべき。</p>	<p>観光振興やシティプロモーションにつきましては、令和4年策定の八千代市観光振興計画や令和3年策定の八千代市シティプロモーション推進指針等に基づき進めております。 いただいたご意見は、担当部局と共有し、今後の取組みの参考とさせていただきます。</p>	
27	その他	<p>■インバウンド事業の誘致・創設 成田空港からのアクセスの良さを生かした、市外・国外からの集客を望めるような魅力的な事業の誘致・創設を市が主体となっていくのはどうか。（細かいところでいえば、現在は市民向けのイベントが多いため、市内だけではなくもっと市外からの集客を見込んだイベントに視野を広げる。）</p>	<p>交流人口の創出や新たな観光資源の発掘につきましては、令和4年策定の八千代市観光振興計画においても、基本方針として掲げており、重要な課題であると捉えております。いただいたご意見は、担当部局と共有し、今後の取組みの参考とさせていただきます。</p>	